

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2020～2021年度 No.262

## 10月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ III



強調月間：BF  
TW22

### 今月の聖句

あなたは地に臨んで水を与え、豊かさを加えられます。  
神の水路は水をたたえ、地は穀物を備えます。

旧約) 詩編65:10

### 10月第1例会(墓沼用水探訪とクリーン作戦)

日時：10月23日(土) 午前9時30分～

場所：河野会長宅前の道路に集合(大田原市城山2丁目)

内容：墓沼用水の最後の地点より遡り、那須疎水との接点から用水の引き込み口まで探訪。探索の途中で、ごみ拾いを行う。

参加者は、20日(水)までに河野会長(0287-22-5380)に連絡。小雨決行。中止の場合は連絡する。

コロナ対策として、検温を行います。

持参物：お茶、散策に適したシューズ、雨具、ごみ拾いの軍手、火箸。

案内：田村 修也副会長

墓沼用水は、蛇尾川(さびがわ)の上流、大蛇尾川と小蛇尾川の合流地点のすぐ下より取水し、墓沼から西那須野地区を経て大田原市に至る延長約20キロメートルの用水である。慶長年間(1596～1615)に墓沼ほか4か村(折戸(おりど)・上横林(かみよこばやし)・横林(よこばやし)・接骨木(にわとこ))の自普請(じふしん)によって開かれたもので、当初は「接骨木堀」と呼ばれていた。水量が少なく、飲用水として利用されていたと言われる。その後石林まで延長され、「墓沼堀」と呼ばれるようになり、さらに、明和8年(1771)には、大田原藩によって大田原城下まで延長された。これ以降、大田原藩の規制下におかれ、大田原用水とも御用堀とも呼ばれるようになった。天明年間(1781～89)ならびに明

2021～2022年度 主題

国際会長：(IP) サム・サンテェ(韓国)

「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長：(AP) 大野 勉(神戸ポート)

「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事：(RD) 大久保 知宏(宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるのか？」

北東部長：南澤 一右(仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」

### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

### 9月例会データ(出席率：83.3%)

在籍者 7名(内 功労会員1名)

第2例会出席者 5名

### 10月 Happy Birthday

なし

### 11月第2例会(役員会)

日時：10月29日(金) 午後4時30分から

場所：田村メン宅

### 11月第1例会(日本の文化に触れる(茶道))

日時：11月23日(火・祝日)

内容：茶道について学ぶ

場所：遠山師宅

## 巻 頭 言

書記 藤生 強

私の勤務するYMCA特養マイホームきよはらの新型コロナ状況報告第4弾です。前回（4月号）から半年たった現在の様子をお伝えします。

5月に1件、8月に1件の新型コロナウイルス感染事例が発生しました。

5月の事例では「子どもの居場所」事業のパート職員が感染しました。保健所の指導の下、利用者である子供たちと職員がPCR検査（結果は全員が陰性）を行いました。事業は2週間の休止となりました。感染源はプライベート交友関係からとのことでした。

8月の事例では「デイサービス」事業のフルタイム職員が感染しました。但し、勤務シフトにて予定していた連続休暇の中で感染したため、保健所の判断は「デイサービス利用者及び職員は濃厚接触者及び接触者にはあたらない」とのことで、大掛かりなPCR検査には至りませんでした。

しかしながら事業所判断としてデイ職員のPCR検査（結果は全員が陰性）を行いました。保健所の見解ではすぐに再開は可能でしたが、安全を期すため事業を2週間の休止といたしました。感染源は家族からとのことでした。

幸い2件とも施設内にウイルスが持ち込まれなかったため、とりあえずは大事には至りませんでした。職員やサービス利用者から感染する可能性を0（ゼロ）にすることは不可能です。プライベートを管理することはできません。YMCAに直接関わる一人ひとりだけでなくその家族など周辺の方々にも協力を頂きながら、みんなで感染予防を心掛けるしかありません。

ワクチン接種の効果のあらわれか、近頃は全国的に新規感染者数が減ってきましたが「0（ゼロ）」になった訳ではありません。まだまだ感染の脅威は衰えておらず、安心はできません。少しでも早く終息する様に祈るばかりです。

### 那須ワイズの活動内容について

20数名でチャーターされた那須ワイズメンズクラブが、現在、チャーターメンバーは4名の方々になってしまった。過去の那須ワイズの活動は、チャーターメンバーである方々の頭のあることであろうと思う。昔も、現在も行っている活動と大きな違いがないのではと思う。現在のメンバーは、7名である。現在行っている活動を網羅してみよう。

- ・Yサービスとしては、那須YMCAの行う活動への協力(ユースリーダーの活動報告会)。塩谷キャンプ場の整備と活動方法の検討。チャリティーランへの協力。卒業するユースリーダーへの感謝品の贈呈。
- ・CS活動としては、那須街道の赤松林の植樹例会(ユースリーダーの参加、黒磯のガールスカウトと共に)、アジア学院のバザーへの参加(ユースリーダーと共に)し、売上金を献金する。クリスマス例会にユースリーダーと養徳園の人たちを招いて祝会を共にする。那須聖園老人ホームでの歌う会とタオル等の贈呈。地域の方々に対する啓発活動となる講演会の実施。社会福祉法人エルム福祉会のアルミ缶収集。
- ・ユースリーダーと日本文化に触れる活動として、茶道の体験。
- ・それ以外にメンバーの現状報告を行う例会を行っている。

これらの活動には、賛同者がいてくださって、参加と献金がささげられている。感謝です。

ブリテンへの執筆を依頼している団体としては、西那須野幼稚園、アジア学院、御園那須老人ホーム、エルム福祉会等。

それ以外に、エルム福祉会、アジア学院、イースタービレッジ、西那須野幼稚園に対して役員としての関わりがあります。

これらの活動を行うために資金作りとして、にシイタケ昆布の販売に力を入れている。

一人当たりの会費の内、本部・北東部に2万円強、YMCA会費が1万円、残りが活動費である。

## 10月第2例会（役員会）報告

日時：10月1日（金）午後4時30分～

場所：ZOOMにて

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、藤生書記、平山担当主事

協議事項

### 1. 10月第1例会について

日時 10月23日（土）午前9時30分、河野会長宅前の道路に集合。散策途中でクリーン作戦を行う。持ち物は、飲物、軍手、火箸、散策に適したシューズ。

### 2. 11月第1例会について

日本の文化を楽しもうとし、茶道を学ぶ。ユースリーダーの参加を考えて、11月23日（火・祝日）に行く。場所は、遠山師宅をお願いする。詳細については、11月役員会で決定する。

### 3. 11月役員会（第2例会）について

その月の第1金曜日では、遅いように思うので、できれば、前の月の最後の金曜日とするほうがよい。したがって11月役員会（第2例会）は、10月29日（金）午後4時30分から、田村ワイズ宅にて開催する。ZOOMでの参加も可能。

### 4. YMCA報告

10月から11月にかけて、とちぎYMCAの主幹でリーダー研修会が開催される。

### 4. ワイズ報告

ロースターの印刷注文をしてほしい。

### 5. シイタケ昆布の注文について

185個を注文する。

### 6. 熱海土砂災害に対する募金について

本部より連絡があった、支援金の依頼に対して、10,000円の献金をする。10月5日に送金済。

### 7. その他

・秋の植樹例会として、オオタカの会が主宰する植樹会に参加していたが、今年はオオタカの会が中止するとのこと。したがって、クラブとしても中止する。

・河野会長より、9月22日に大久保理事、北東部の南澤部長、涌澤書記と、ZOOMで話し合う機会があり、例会の持ち方・会費の件・魅力あるクラブ活動・EMCについての話があったとの報告。那須クラブの会費を安くすることも一つにヒントになるのでは？との話が出た。

・河野会長より、コロナの時期で、野外活動に対するニーズが高まっている時、CFを利用してでもキャンプ場の整備を行うことも可能ではとの提案が

あった。塩谷キャンプ場の放射能の値に対して、栃木YMCAの放射の汚染の考え方が知りたいとの意見があった。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第102回）

田村修也

矢板 武さんの先祖は5・7・9・11代は五右衛門を、6・8・10代は武兵衛を名乗っていますので、12代の武さんは武兵衛を名乗ったのです。

江戸時代における下部行政機構は、兵農分離によって身分が固定されていました。武士は江戸幕府の権力のもとにあつて家臣制によって支配を受け、百姓町民は、村形三役によって郡奉行や代官などの支配を受けていました。名主・組頭・百姓代が行政の下部機構で農村管理の直接の責任者であると同時に、村落内共同体の支配者としての役務を持っていました。その他庄屋と役人との間を取り持つ大庄屋が10ないし20ヶ村を受け持っていました。

坂巻一家が村方三役を命ぜられたのは、文政8年（1825）荒井村坂巻八右衛門に、37ヶ村の名主を命じられたのが初めてで、次は天保9年（1838）矢板村10代坂巻武兵衛茂寿が29歳の若さで名主も命じられました。佐倉藩が矢板村の存在と坂巻家の家産が名主としての信望を保つのに充分であると認めたからです。

10代武兵衛（1808-52）は先祖伝来の農業に専念するとともに、大地主として所有する高原山山麓の立木の販売を兼ねて材木問屋を営み、その販路を今市方面に求めました。しかし日光北街道は宇都宮を経由すれば道は平坦ですがかなりのまわり道になり、現塩谷町の玉生・船生への倉掛旧道を通れば、材木にしろ米穀にしろ馬のつけ荷が落ちて、なお困難で、地元の人達の手を借りなければならぬことがしばしばあったそうです。

この難所を避けるために、新道を切り開いて、交通の利便を計る事を提唱したのが武さんの祖父の武兵衛茂寿でした。近隣の村人たちも喜んで賛同し、玉生村の玉生汎昌、幸岡村の君島昌信の3人が中心になって、嘉永3年（1850）に、人夫3500人を掛けて425間（約770m）におよぶ堀切新道が完成したのでした。村人の願いによって「倉掛新道の碑」が建てられました。

以前記載しましたが、武さんも印南さんと共に喜連川の弥五郎坂の堀切新道を開設しています。矢板家が社会公共の事業に奉仕した偉業は今日まで伝えられています。

この倉掛街道は矢板から塩谷町を経て旧今市・日光、鬼怒川・会津への道で、同じ那須ワイズの原田ワイズ・メネットのご自宅のすぐ側を通る道で、ワイズの例会等のためはかなり頻りに利用しています。東北自動車道の上を通って矢板市幸岡を過ぎると、進行方向左手に木造建築の森林組合が見え、そこから倉掛の山を切り開いた登り道に入り、峠を越えて塩谷町玉生の梶橋（さいかち橋）の信号で旧道と新道に分かれて、新道を直進すると左手に原田メン・メネットのご自宅が見えます。蛇足になりますが、私の祖父の五郎も家産を傾けて旧両郷村川田に堀切新道を開設しました。戒名に「路」の一字が入っています。

武さんの五右衛門さんは22歳で家業を継ぎました。先代が木材業に意を注いだのですが、先代から取り扱っていた穀屋を営んで大いに産をなしました。その理由は、薪炭材は20年から30年の伐期になるので資金の回転が長期になるのに対して、米穀は毎年収穫があり、日光へ参詣する旅客を相手とする旅館や諸大名が参社する行列への食糧を確保する必要がある消費地日光への売り込みは莫大な数量でした。そのため、日光に隣接する今市の間屋と年間取引式千両を特約して、倉庫まで持っていたそうです。特に父五右衛門は、この地方に散在する旗本領からあがる年貢米を担保にして、年賦返済の条件（利子は年2割の月賦）で各領主に金円を用立てていました。その金額は貳百両から五百両に及んでいたといえますから、相当の資産を持っていたことになりま

（以下次号へ）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」

（新約聖書コリントの信徒への手紙Ⅰ10-13）

現人類は、「ホモ・サピエンス」と言われます。

「ホモ」は「人」で、「サピエンス」は「理解する・知っている」ということで、「賢い人」を意味します。シェラーは、「ホモ・ファーベル（工作する人）」。

ホイジンガーは、「ホモ・ルーデンス（遊ぶ存在）」。

人に対するいろんな概念があります。

「夜と霧」の著者でナチスの強制収容所で家族を亡くし、自身も収容所での壮絶な生活から生還を果たした経験のある精神科医のフランクルは、「ホモ・パティエンス（苦しむ人）」と位置づけて、苦しみに積極的に対峙することを言っています。聖書学者である並木浩一は、「苦難」がテーマになっている旧約聖書の「ヨブ記」から「苦しむことが許されている人」と捉えています。

さて、コロナ禍が1年半余り続いています。言い換えますと、私たちの生活の様々な面での「苦難」が続いていることも意味しています。例えば、那須塩原市社会福祉協議会が窓口の無利子の生活支援貸付金は、7月末で3億7千万円を超えたと聞きました。保護者の皆様におかれましても、見える形、見えない形での様々なご苦労があると思います。

コロナ禍以前、私は、保護者の皆様に、これからは今ある仕事も変化する(\*1)「正解の無い時代」になり、子ども達は、その時その時の適解を求めて生きることになることをお伝えしてきました。

しかし、このコロナ禍によってVUCA(ブーカ)(\*2)の時代は一気に私たちの現実になりました。大人になった子ども達が真っ先にはなく、私たちが一足早く苦しむことが許されたのです。子ども達は、苦難に向かって、親や他の大人達が、英智を出し合って協力する姿を毎日見えています。私は、この経験が必ずや子ども達が苦難に出会ったときの心の支えになると考えています。

毎日が苦難の連続と思う日々です。しかし、冒頭の聖句のように、神は、耐えられない試練は与えられず、逃れる道も用意して下さいます。その聖句に希望があります。

註1

①「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」(キャシー・デビッドソン氏 ニューヨーク市立大学教授の予測) ②「今後10~20年程度で、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高い」(マイケル・A・オズボーン氏 オックスフォード大学准教授)

註2

VUCA(ブーカ)の時代

- ・Volatility(変動性)
- ・Uncertainty(不確実性)
- ・Complexity(複雑性)
- ・Ambiguity(曖昧性)

## 聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ  
那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

朝晩の冷え込みがぐっと迫っておりますが、皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

9月の緊急事態宣言が終わり、10月～11月は観光のオンシーズン、また、屋外でのアクティビティの多い那須町では、県外からの観光客も多くみられるようになりました。緊急事態宣言の効果なのか、軒並み栃木県は陽性反応者数を低い水準を保っています。しかし、慣れのせいも、緊急事態宣言中でも現在でも新型コロナウイルスの予防策が緩んでいる様子がありありと見てとれます。このままでは、また、緊急事態を繰り返すだけではないのか今から悶々とした思いであります。

そんな中、聖園那須老人ホームの建替え計画が着々と進んでいます。先日もリモートを活用しながら、各打合せ等を重ね、図面の完成は県のチェックを待つのみという段階に入りました。ようやく計画のスタートを切る事ができたというところですので、本番はこれからですが、ここまで進めるのにも、皆様の支えにより、どうかこうにかここまで来たという思いです。あらためて多くの方々に支えられ、聖園那須老人ホームは成り立っている事をかみしめているところです。

今後も、皆様に支えられるだけでなく、「はたらき」でお返しできる様、努力していきたいと思っておりますので、お困りの事が御座いましたら、気軽に下記連絡先で構いませんのでご連絡下さい。

### タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。
- ・まとまった数が集まる場合は（距離によりますが）、お引き取りに伺います。
- ・その他お問合せは、電話番号 0287-72-0809 までお願い致します。

## YMCAだより

【第52回全国リーダー研修会が開催されます！！】

10月17日（日）10月31日（日）11月28日（日）にとちぎYMCA主幹で第52回全国リーダー研修会がオンラインにて開催されます。全国リーダー研修会はリーダー歴が3年以上の経験もしくは各YMCAで今後リーダーシップをとっていくことが期待され、推薦されたリーダーを対象に行われる研修会です。今年は「Negative capability × X = Positive Well-being」をテーマに行われていきます。今回はとちぎYMCAが主幹ということもありとちぎYMCAからは11名のリーダーが参加します。また、那須YMCAからは2名のリーダーが参加します。

参加者1人1人にとってリーダーとして、これから生きていく一人の人間として学び多い時間となるように開催まで準備を進めていきたいと思っております。



Negative capability × X = Positive Well-being

日程：2021年10月17日（日）/2021年10月31日（日）/2021年11月28日（日）  
13:00～17:00

会場：オンライン会議ツールZoom

【とちぎYMCA・那須YMCAの10月の予定】

- ・10/2（土） さくらんぼ幼稚園運動会
- ・10/9（土） 休眠預金コロナ緊急支援事業@秋のラフティングチャレンジ
- ・10/16（土） サタデークラブ@ハロウィンパーティー（西那須野幼稚園）
- ・10/17（日） 全国リーダー研修会①@とち

ぎYMCA（オンライン）

- ・10/22（金） ウィンタープログラムキックオフ&YVLF報告@宇都宮YMCA
- ・10/23（土） サタデークラブ@ハロウィーンパーティー（西那須野幼稚園）
- ・10/24（日） Yキッズ@馬頭農村塾
- ・10/30（土） ハロウィーンカーニバル@トライ東
- ・10/31（日） 全国リーダー研修会②@とちぎYMCA（オンライン）

## ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言



- ① 河内璃子（ぴかりーダー）
- ② 国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科1年
- ③ 栃木県足利市
- ④ もともとボランティアに興味があって、友だち（おむりーダー）

ー）に誘われて説明会に行ったのがきっかけです！

- ⑤ 6月Yキッズで行った飛山城史跡公園です！グループを自分一人で見ることが初めてだったのでとても不安でしたが、子どもたちが明るく話しかけてくれたり楽しんでいる姿を見ているうちに不安なんて吹き飛んで一緒に楽しんでいました！この経験のおかげで自分自身とても成長したと思います😊
- ⑥ 視能訓練士を目指しています。
- ⑦ ボランティアに少しでも興味があったらぜひ説明会に来てみてください！YMCAに入り、たくさんの素敵な仲間と出会えました。たくさんの思い出もできました。これからもみんなと楽しい思い出を作っていきたいです！みなさんも是非一緒に活動をして楽しみましょう！！

## 編集後記

- ・皆様より原稿をいただきながら、完成に手間取り遅くなりました。申し訳ありません。
- ・2ページに例会の写真がないので、少し那須ワイズの活動内容と会費についてまとめてみました。EMCにつながればと考えました。